

# 6 自分ってどんな人?

実践事例 ——— 自己紹介の作品作りを通して、自分について考える

## 指導計画

絵や言葉で自分を表現することで、あらためて自分自身をふりかえり、自己に対する理解を深めるとともに自分を大切にすることを育む。

めあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分自身をふりかえて「自分のこと」を作品で自己表現する。あらためて自分自身について考える機会を持ち、自分らしさに気づいたり、理解したりする。</li> </ul>
指導のプロセス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今日のグループワークの内容について説明する。</li> <li>2 自分自身のことを友だちに紹介するワークシートを作成する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① ワークシートの記入の仕方を説明する。 どんな答えがいいということではなく、一人ひとりが違ってよいこと。 言葉だけでなく、絵で表現してもよいこと。 下書きで練習してから清書してもよいこと。</li> <li>② ワークシートの記入が終わったら、清書用の画用紙を配布して完成に向けて取り組むように促す。</li> <li>③ やり方がわからなかったり、書き始めることができなかつたりしている子がいないかを確認し、アドバイスをする。</li> <li>④ 作品が完成できなかったときは持ち帰って仕上げる。</li> </ol> </li> </ol> <p>留意点：グループで着席する場合は、お互いの作品を見合う程度はかまわないが個人の作業が損なわれないように配慮する。作品の上手下手は問題とせず、自分のことをたくさん書く努力をするよう促す。巡回して進まない子の支援をする。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作品が仕上がったら教室に掲示し、お互いが読み合って相互理解ができるように配慮する。自己紹介の会を行ってもよい。</li> </ul>



みなさんは自分について考えたことがありますか。みなさんの一番大切なものは何ですか。好きなものは？ きらいなものは？ 今日はそんなことを考えながら、自分自身をふりかえてみたいと思います。

## 授業の流れ

### 自分のことを考えよう

今日は、「自分のことを考えてみよう」という勉強をします。目をとじて、自分はどんな人間かなと思いつかべてみてください。

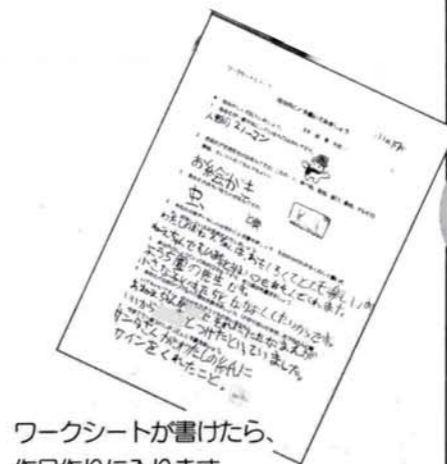
わたしの一番大切なものは家族かな…

ワークシートに質問が7つあります。一番大切にしているものは何ですか、好きなものは…、ひとつひとつつめてみましょう。

### 作品にまとめよう

文章だけでなく絵を描いてもいいですよ。

将来はつうモデルを作る人になりたいな



ワークシートが書けたら、作品作りに入ります。

ワークシートには7つの質問項目が書かれています。1. 一番大切なもの、2. 好きなもの、3. きらいなもの、4. 家族について、5. 将来の夢、6. 名前の由来、7. 今までで一番うれしかったこと。子どもたちは質問のひとつひとつに答えることで、自分自身をふりかえります。

ワークシートがうまった子どもから、作品作りに取り組みます。画用紙にはそれぞれの質問項目に対応した7つの枠があり、自由に絵や文章が書けるようになっています。色鉛筆を使って自分の似顔絵を描いたり、イラストを入れてみたり、子どもたちはさまざまな工夫で自分らしさを表現しています。



自分をわかってもらいたい、自分のこんなところを紹介したいという気持ちで作品を作ってみましょう。出来上がった作品はみんなで見ます。今まで知らなかった友だちの一面に気づくかもしれませんね。

子どもたちが作品作りに取り組んでいる間、先生は教室を巡回し、いろいろなアドバイスをします。自分の似顔絵を描いたり、家から持ってきた写真を貼っている子もいます。子どもたちの楽しい作品がどんどん出来上がっていきます。

あとで教室にはりますから、楽しく作ってください。



お花が好きだから  
花屋さんになりたいな

絵も文章も  
とてもきれいに  
かけていますね。

ほくの大切なものは  
ポスターかな

どうして大切に思うのか、  
そういうことも書けたら  
いいですね。

時間内に仕上げられなかった子は、家に持ち帰って完成させることになりました。作品作りを通して、子どもたちはあらためて自分について考え、自分らしさに気づくことができました。



友だちのよいところを見つけ、ほめることができるということは、みなさん一人ひとりがそれをキャッチする素敵なアンテナを持っているということです。アンテナをはりめぐらせ、友だちのよいところを見つけてみましょう。

## 授業の流れ

### 友だちのよいところを見つけよう

先生から授業のねらいが説明されました。子どもたちは7月に「ありがとうカード」という授業で、友だちのよいところを見つけてカードに書いて渡すという体験をしています。今回は手紙で友だちのよいところを表現します。

「友だちのよいところを見つける」  
「手紙に書いて渡す」  
「気持ちよく手紙を受け取る」  
ということをやってみたいと思います。

### 手紙を書こう

2人一組を作り、手紙を書く相手を決めました。子どもたちは手紙をあげる友だちのふだんの様子や人柄、得意なことなどを一生懸命に思い浮かべます。言葉やイラストを使って、さまざまな表現で個性的な手紙ができ上がっていきます。



どんなところが「やさしい」のかを書いてあげられるといいですね。

今日は「友だちにほめ言葉をプレゼントしよう」という勉強をします。

手紙をもらったら  
うれしい気持ちを  
伝えてください

もらった人が  
うれしくなるような手紙を、  
工夫して書いてみましょう。

〇〇さんのいいところは  
やさしいところかな…



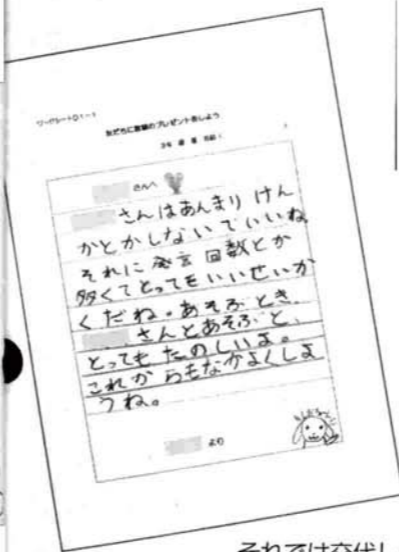
ほめ言葉をプレゼントされた人は、その言葉を気持ちよく受けとめてみましょう。ほめてくれた相手の思いをきちんと受けとめることは、相手を大切にすることにつながるからです。

### 手紙を渡そう

それでは向かい合ってすわってください。一人ずつ交代で手紙を渡します。

とても  
うれしいです

手紙をもらった人は、  
読んでどんな気持ちか、  
自分の気持ちを  
相手に伝えてあげてください。



それでは交代します。  
今度はもう一方の人が  
手紙を渡してあげてください。

ほめ言葉のプレゼントを通して、子どもたちは自分と相手を大切にすることを体験しました。授業を終えて、子どもたちから次のような感想が聞かれました。

- たくさんいいことを書いてもらってうれしかった。
- とてもうれしくて涙がでそうでした。
- いろいろ伝えたいことを手紙に書いてよかった。

あらかじめ各自が作っておいた封筒に手紙を入れ、最初に一方の子どもがもう一方の子どもに渡します。もらった子どもは手紙を読み、読んだ感想を相手に伝えます。子どもたちはとてもうれしそうです。

